

ワーカーズ・コープ・センター事業団

雇用調整助成金・教育訓練給付金講座（開講にあたり…）

馬場

はじめに

1. 雇用調整助成金教育訓練講座とは…

2. センター事業団での教育訓練講座開講目的… ※5.8 通達第 40 号

- 1) よい仕事や協同労働についての知識とスキルを高める ※全国の仲間も登壇、全国観点…
- 2) 委託や指定管理での在宅ワークや研修の実態の一つとして活用 ※第 2 波のコロナに備えて…

3. コロナ禍の中で…

- 1) 大失業時代…内定取り消し、派遣・非正規・フリーランスの不安定就労層
- 2) 経済の危機が命の危機に直結…

※別紙

→大学生協が緊急アンケート…3 万 5 千人…2 割が深刻な状況…学生たちが立ち上がる運動…
→社会運動的な組織づくり…横の連携…10 万円給付金を活用して新しい連帯基金(みんなのおうち基金)
→現場・事業所がまちの就活や生活サポート…子どもの預かり、体験や開拓、スーツ等レンタル…
→給付付き職業訓練講座を求める運動の主体者として…自治体行動…市民とみんなのおうちづくりへ…
→コロナ禍の中で現場・事業所が地域の困難を受け止めながら…法制化を力にみんなのおうちへ

4. 5.9 全国子ども・子育てケア PJ 会議の中で…

- ・尾久ふれあい館…在宅勤務の就業規則作成…話し合い…行政にも相談…他現場応援…
パネルシアター、制作物や接遇の研修、ユーチューブを使った動画配信編集、ラインで情報共有
- ・狭山児童館…在宅勤務を出勤として認めてもらう為に市に協議依頼書提出…HP を活用し家庭で楽しめる発信…エプロンして公園パトロール…相談業務の代替え実施…水野美女軍団 G ライン
- ・多治見児童館…公民館と児童館を一体化していく 10 年計画…子どもから高齢者まで集える拠点
子どもの権利条約 H15 年制定…CAP の学びを子どもと…人件費減額無…事業費は検討…？
- ・苫小牧ぽっけ…コロナで失業した外国人労働者の相談(市長がワーカーズに頼めば何とかなる！)
話し合い…嬉しい報告で子どもの手紙やマスクの寄付等…ぽっけごはんで弁当宅配…FB や FP
来月引越して就労 B 立上げ…現場事業所の位置づけを住民と共に仕事おこしまちづくりの拠点
- ・ふじみ野そらまめ…クリーンキラー…アクリル板ガード手作り…3.11 福島からふじみ野市の公務員住宅に避難してこられた方の支援…親を預けるんだったらこういうディがいい！1 年話し合い
学習会で自然エネルギー協会と懇談…屋根に太陽光…小農…地球温暖化防止や環境エネルギー
- ・浦安学習支援…WC 内 1/3 の学習支援は千葉 9 市 2 町…皆で話し合い全家庭訪問…自治体了承
2019 年大雨台風被害で事業休止時も訪問経験が活きた…水や食べ物を届ける…息抜きできる物
子どもたちの生活家庭状況を活かす…保護者の深刻な相談…自治体とは日頃からの関係が大事
- ・新潟こども創作館の立上げ…真っ白なお城…シンボリックオブジェ募集中…東区にフリースクールを
- ・西原ほほえみ認可保育園…吸収合併から保護者の力で認可保育園に…署名活動→区長懇談

改めて、現場事業所の位置づけは、みんなのおうちづくり。子どもや親の困難に向き合い、本格的な仕事おこしや社会連帯を住民と一緒に子ども中心にしたまちづくりにむかってオンライン会議でした。

1. 労働者協同組合（ワーカーズコープ）とは…

○皆さんは、ワーカーズコープに入団する時、どのような話を聞いて入団されましたか…？

○また、皆さんが、これからもワーカーズコープを求職者の方や地域の様々な方々に話をする時、どのような話をしますか…？

○ワーカーズコープ版教育訓練講座を初日に開講するにあたり、「ワーカーズコープとは…」入門編で少し話をしたいと思います。

○このコースは子育て関係の組合員が主に受講されていると聞いています。「子どもの仕事と協同組合」の関係について少し触れられれば…


（１）はじめに

「協同組合」をご存じの方…？



- ・農協、生協、全労災、漁業、森林、労金…様々な協同組合… 世界中に…
- ・ワーカーズコープは一番新しい協同組合…働く人の協同組合…労働者協同組合…ワーカーズコープ…
- ・新協同組合とはーそのあゆみとしくみー1996年初版 発行所：財団法人協同組合経営研究所（現JC総研）値段 600円

■特徴

- ・株式会社…利潤利益を生み出すことが目的 株主募集 資本として事業開始
議決権は、もっている株が多いほど強い仕組みになり、お金の結合体
- ・協同組合…利潤だけでなく、自分たち自身がその事業を利用するために協同組合をつくり、元金も出資金という形で自分たちで出し合い、出し合った出資金によって事業をはじめる。
議決権は、出資金に多い少ないに限らず一人一票の仕組みで、人の結合体。シンボル「虹」
※事業体である同時に、運動体でも。人々が協同しあうことによって、自分たちの暮らしや社会をよくしていくための経済組織であり、そのための運動体である特徴をもつ。
※協同組合の7つの原則は自身で調べて学んでおいてください。

協同組合で大切にしてきたことは、批判するだけでなく、一人ひとりの主体的な参加を基礎に、生産や消費、労働など様々な面で人々が協同しあうことによって、自ら道を切り拓いていく。自立した個人を基本として、いまの時代にあった形で人々との協同を大切にしたいという運動。たゆまぬ自己革新を、一人ひとりがよく考え、みんなで話し合いや工夫をしあう。

※ぜひ、現在(いま)の社会で暮らしている中で、感じていることを職場や家庭でも出し合ってみよう…

※現在(いま)の暮らし（生活や地域）について、「協同」といった観点から問い返してみよう…

また、各都道府県単位での協同組合間の連携の組織化が広がっている(広島、新潟、埼玉、滋賀、福岡、神奈川、北海道、名古屋、東京…)。東京の協同組合間協議会発足後初となる8つの協同組合でフェスタTOKYOを5日間にわたり開催。5千人以上の来場者。互いの協同組合間の関係も深まり、開催後にはクリーンキラー購入、所沢クッキー300個の注文も入って顔と顔の見える信頼関係がつむがれた。WNRでは、生活クラブ生協のハウスクリーニングに携わり6年。合成洗剤を使わない石鹼と重層を使った生活クラブの組合員宅の生活と暮らしを清掃で支えている。技術の高まりとともに、仲間も増え、年間1千万を超えた。

(2) ワーカーズコープが大切にしている 2 つの目的(理念)… 参考に…自らの言葉で労協を話せるように…

① まちづくり (地域コミュニティづくり) まずは、身近な社会情勢から入り実践紹介を… 組織説明は一番最後に…

- ・ 商店街、地域をまとめてきた住民組織、生活スタイルの多様化… 壊れたものは再生していかない…
- ・ 現代特有の「冷たさ」、仕事、子育て、核家族、受験、競争に勝ち抜く社会、弱者切り捨て…
- ・ オールウエイズ 3 丁目の夕日、近所の家計事情がわかる… いまは残念ながらなくなってきている…
- ・ 虐待の問題、核家族、スクールカウンセラーを学校に配置…
- ・ 虐待してしまう、してしまいそうなお母さんの気持ちがわかる…DVD「ママたちは非常事態」NHK スペシャル
- ・ AI の時代、インターネット等の情報過多の時代、何を選択していいのか、様々な思いとストレス…
- ・ 近所のおじさん、おばさん…
- ・ 学童、保育園、放課後等デイ、児童館… ※例えば私の児童館では… 都内や旭川や仙台や岐阜等の児童館では…
- ・ 子どもの最善の利益…子どもの権利条約…児童憲章…
- ・ 各現場で大切にしていること、将来像、願い、夢を…みんなのうちに協同総合福祉拠点…

② 協同労働 まずは、社会情勢から入り現場の運営で大切にしていること紹介… 組織説明は一番最後に…

- ・ 孤立、貧困、排除、無縁、失業、孤独死、自殺、一人暮らし、生きづらさ、年金や生保の切捨て等…
- ・ 派遣…労働者（人間）が商品…労働の軽視…働く側も高い待遇へ…生活を成り立たせてくのが大変…
- ・ 子ども、若者、女性、高齢者、障がい者、生活困窮者、少子高齢…
- ・ グローバリズム、新自由主義、資本主義社会、経済市場万能主義、政治の劣化…
- ・ 労働、地域、命、自由の破壊と平和と民主主義の危機、生産と消費、格差拡大と非正規雇用急増…
- ・ 沖縄の基地負担、福島原発、3.11 東日本大震災、持続可能な社会…
- ・ 気候危機、海面上昇、農業解体、食料危機、難民急増、飢餓や栄養失調…
- ・ コロナ禍…一斉休校、学童開所、PCR 検査、パンデミックの確立、ウイルスとは、緊急事態宣言…
- ・ 日本社会全体が自分のことで精一杯…地域があれている…地域で解決されていない…
- ・ お金を持っている人は総体的に少ない…助け合う…人と人とを結びつける…働くことを通じて…
- ・ 働くということは…社会や地域の必要やニーズ…人から喜ばれる労働…働くことと生活が一体…
- ・ いまは分断…最たるものが戦争…平和が崩される…硫黄島への手紙…日米の母親は同じ思いの場面
- ・ 協同組合は平和をつくっていく営み…ともに成長していく…全ての人たちが幸せ豊かな社会へ…
- ・ 人と向き合う…自分の本音…仲間を信じる…従属した働き方ではない…対等な関係…互いがよくなる
- ・ 話し合いを何より大事に…互いを分かり合う…共通した価値…一緒に汗し学習する場面…
- ・ 出資と労働と経営…1 口 5 万円の出資金…脱退する時に返す…資本を自分たちで出す…一人 1 票…
- ・ 子育て分野が 100 億 3000 人…
- ・ 目指している協同労働の子育ちは…協同があふれる子育て現場…協同とは子どもが主人公になる…
- ・ 子どもたち自身が…生きる力…仕事をおこし仕事をつくる力…子どもが社会に出たときのイメージ…
- ・ 巣簞らない…外に向かい挑戦を…前例無…仲間を信じれるかどうか…生き方と働き方を一つに…
- ・ 地域の会合やお祭りや子ども食堂に参加…理想や夢や願いや思いが大事…現実を変えていく力を…

■全国の仲間の実践事例

北海道旭川のとくさんの家では、生活と地域に根差し、一人ひとりの困りごとを地域の希望に変える仕事おこしだ。子ども食堂を通じて、児童館の組合員と地域住民のボランティアが仲間になって、形になったものだ。包括支援センターのボランティア「ハートフレンドの会」の 20～30 人の高齢の方々が、みんなのおうち構想に共感して、拠点を探そうと地域中歩きまわり、1 軒屋を譲渡してもらった。ワーカーズコープが立上げた放課後等デイ「カムカム」と、「ハートフレンドの会」が同居する地域共生拠点「トクさんの家」が生まれた。多世代交流、地域食堂、園芸作業や園芸療法、健康サロン…放課後開放では、地域の子どもが遊びにきたり、不登校の子どもがきたり…ごちゃまぜの居場所として機能している。児童養護施設から通う子どもにとって、高齢者たちのふだん着のあたたかい関わりが、生きる支えになっている。

九州大野城では、「子どものイノチに向き合うみんなのおうち」が生まれている。2017 年 10 月に「ほっとのため」を開設。議からのフリースクールを求める声、不登校支援からはじまった。組合員がみんなのおうちに共感し、自分の家を提供。居場所を求める子どもや若者たちが畑づくりや菓子づくりなど得意な力を活かして元気に。そこに大野城市から受託しているランドセルクラブ（放課後子ども教室）が拡大。新たな場所を移転。ほっとカフェ、ほっとストア、ほっと保育園、ほっと菜園、ほっとナイト、ほっとスクールなど…仲間や地域から持ち込まれる仕事おこしの種を地域・民生委員など地域住民が大勢仲間に加わった。そしてランドセル事業と放課後等デイとほっとのたねが同居でき、地域と一緒にあって実らせる拠点（協同労働プラットホーム）になりはじめている。

池袋本部 8 階で「みんなのふくろう食堂」を立ち上げて 5 年目になる。子ども食堂を通して、出会った住民同士が安心して暮らし続けられるように、互いの課題を受け止めあい、担い、支え合う活動が生まれている。食堂からはじまりおもちゃ図書館、遊び場、カフェ、リサイクル内職、親子のイベントなど活動が多機能化している。2019 年には、豊島みんなの円卓会議を立上げ、同じ志をもって活動する行政や民間が、互いの課題認識を共有し連携協力をはかる対話の場になり、地域でと一緒につくり上げていくことへの共感や楽しさ、期待の声があがっている。

江戸川区で新規に開設する児童相談所の夜間深夜の電話相談業務の立上げを通して、地域社会の変化を実感している。福岡や大阪や埼玉の実績がベースになって今回の仕事につながった。子どもを殺してはいけない—それには地域みんなの力が必要で、この仕事の意味に、「イノチをつなぎ、地域と未来をつくる仕事」をテーマに掲げ募集したところ、100 名以上の応募があった。地域が心を痛めている一つが虐待で、どうにかしたいと願う人が増えている。電話相談という業務だけではなく、仕事の持つ意味や理念を前面に打ち出し、社会連帯を全面に掲げる中で、江戸川の子どもたちを地域の人たちみんなで考えたという思いをもつ新しい仲間が集まった。職場だけでなく地域とつながることがワーカーズコープならではのことに希望を感じ、立上げから江戸川区内に社会連帯でみんなのおうちをつくり、人と人がつながる拠点づくりに向かっている。

2. 新型コロナウイルス

(1) センター事業団内部での対応の経緯…

- ・2.13・14 理事会 テーマ:気候危機、みんなのおうち、経営改革、立上げ、理事会の在り方等 ※クルーズ船
- ・2.20 全国よい仕事研究交流集会延期のお知らせ ※3 月下旬中止連絡…
- ・2.28 **小中高の一斉休校と学童・保育園の継続運営…**
- ・2.28 社会連帯理事会…永戸代表からコロナウイルスと法制化と社連に関しての本質的な問題提起
- ・2.29 コロナ対策本部会議…田中理事長から訴え
- ・3 月 WHO パンデミック宣言、雇用調整助成金、特措法、オリンピック延期、自粛要請、3.29 志村けんさん死去…
- ・4 月 **4.7 緊急事態宣言**、世界感染者 300 万人・死者 20 万人、国内感染者 1 万人超、4.10～休業要請
- ・現場状況把握、感染防止策、グリーンキラー、自治体対応協議、休業補償、web 本部長会議…

(2) 4.6 本部と 4.7 本部コロナ対策早朝会議…4.7 本部常勤会議…

→コロナとの本質的な戦いとは…

→ウイルスとは何なのか…

→緊急事態宣言に対する評価等…

(3) 示唆深い識者の見解から考えること…

- ・コロナとの戦いとは何か…国家の命令に従う義務ではなく、社会の自由な権利である…伊藤智永さん毎日 4.4
- ・ウイルスとは何か…福岡伸一先生 4.3 朝日 撲滅はできない…ウイルスを受入れ共に生きていく…前提認識
- ・しあわせの経済コシャさん…種を植えて植物を育てる…これこそがコミュニティづくり…地に足をつけて生きる…
- ・共生革命家ツヤ海さん…チャンス！危機を乗り越えて次の世界をつくる…つながりを取り戻す希望の種にキーワード4つ…楽しさ・美しさ・美味しい・自分らしさ…育む文化を…思いやりの土壌…論理的じゃない次元…
- ・田中優子先生…今いる現場で実践を重ねて必要な知識を得、熟考し実現する…人間には複数の才能…人との対話やまなざしがあって発揮される…遠い理想に向かって自分が今できることを考えることが実践知…
- ・福岡伸一先生…日本は均質的な社会。種の中に多様性が存在し、その種が生き延びるためには不可欠。種が生き残る為には個体のバリエーションが豊富なほうがいい。生物においては、「個体」は「種」の保存に奉仕するための道具でしかない—それが遺伝子のたくらみ。真の多様性とは、違う者の共存を受け入れるという利他的な概念。自ら学ぼうとしないと自分の利他性は気づけない…学ぶのは「自由」になるため。紆余曲折あっても、いつか正気を取り戻し、個と個の違いをみんなで認め尊重が人間の本来の姿。

(4) 4.23 センター理事会… ※総会総代会に向けた議論を中心に…

○田中理事長

→コロナの状況下の中で現場・事業所が主導する労協にセンター事業団になりきる…

→協同労働とよい仕事に拘っている事業所は利用者減無… ※イノチと仕事と自由を守りぬくための話し合い…

→労働者協同組合の法制化 3 つの基本原則 大失業時代の中での法制化 生活と地域に根差す運動と事業

○古村理事長

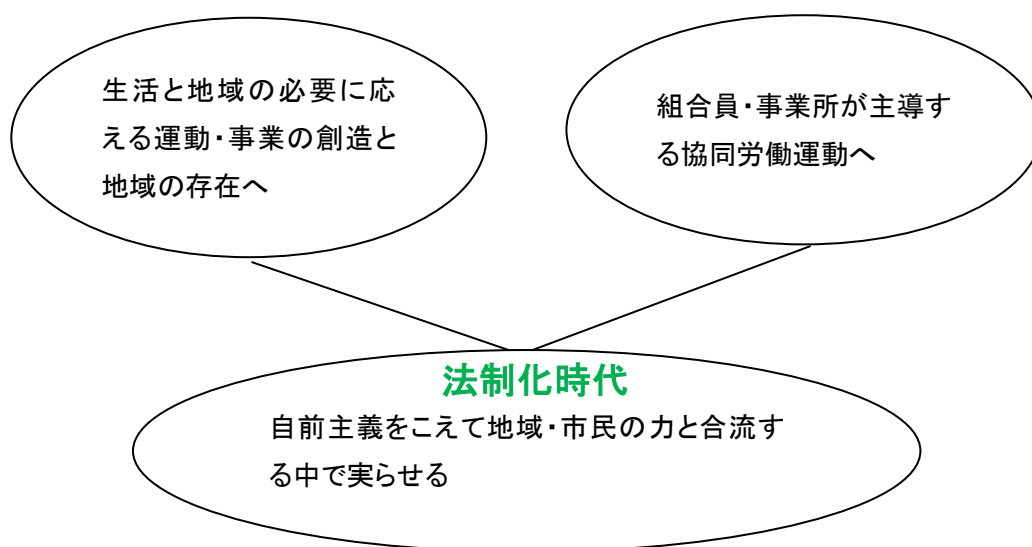
→感染者が出ないことを望みつつ…出た時にその人をどう支えるか…そういう組織や文化を…

→3.11 から 10 年…決意したことを問い直す…顔が見える関係…FEC で生活や地域基盤をつくる…

→環境危機非常事態宣言…アクションプラン提起…地域や職場で話し合いの中から具体的な計画を…

→グローバル気候マーチ…大学生 13 人一人の割合で大学生を辞める…親が失業…10 万給付の寄付…

3. いま、法制化時代のセンター事業団の焦点(事業推進)



現場の仲間たちが、法制化を力に地域・市民の力と合流しながら、地域の存在へ向かって、事業の複合化や総合化、みんなのおうちづくりへ向かう力をどうしたら高められるのか…ここを促進するための2020年度の事業推進プロジェクトのあり方、分野共通項、情報の共有や、かけ合わせ、情報を事業所に届く仕組みづくり推進していく。コロナ対策で、この危機をワーカーズコープとしてどう乗り越えて、新しい関係や流れに向かうのか…生活支援ケア、共生ケア、子育てケア、くらしごとなりわいケアなど会議のあり方、現場との情報共有のあり方の新しく創造していく2020年度にしていこう。

4. 公共を担う基本姿勢

(1)「公共」を担う基本姿勢の確認

- 利用者、市民をお客様（顧客）ではなく、「公共」をともにつくる主体者として
- その力を、地域の人の絆の再生、まちづくりへ
- 利用者・地域のニーズに応える仕事を共に創る…「公共」の領域を広げ新たな就労創出へ
- 「公共」を担う労働のあり方が重要…働く市民が主体性を発揮し、地域に協同を広げる

(2)「市民主体のまちづくりの現場づくり」となる共通テーマ

- ・高齢者が元気に働き、尊厳ある死を看取ることができる地域社会の創造
- ・子ども、若者、大人がともに育ち合える地域社会の創造
- ・労働からの排除、社会からの孤立を防ぐ、生活保護受給者、生活困窮者の自立支援
- ・生命を支える食、農、環境、エネルギー、自然との共生

■小中学校区を舞台に、ケアを基本にすえた現場・事業所の事業運動の複合化と総合化をはかる

- ・コロナ禍後、社会変革を求める現在の急速な地域や市民の意識の変化と結んで
- ・全組合員経営と社会連帯経営を深める…よい仕事を決めるのが経営…それをやるのが全組合員経営
- ・個人主義をこえて新しい社会をつくる命と労働と自由を守る…協同労働のケア力
- ・地域の困難を仲間や地域と話し合い、支え合い、人が育ち合うケアの領域を複合化・総合化していこう
- ・点(現場)から面(地域)の段階にー現場が地域の存在となり、市民主体と合流、現場が発展する段階へ
- ・法制化や協同労働や社連を力に…新しい人々、新しい組織との出会いとつむぎ、協同と連帯の社会へ

5. 協同労働の子育ちの歩み

- 1980 年 東京都養育院ひまわり保育園(板橋) ※89 年多摩医療センターたんぼ保育園(東村山) 90 年日大病院保育園運営(板橋)
- 1998 年 在宅保育支援「ワークス・ユープ あざみ」開設
- 2001 年 都児童会館「のびのびひろば」 ※子育ちシンポジウム 別紙 ※NPO ワークス・ユープ 法人取得
- 2002 年 板橋区板橋第 1 小学校内学童クラブ ※翌年志村第一小学童クラブ 午前：親子ひろば
- 2003 年 足立区商店街活性化事業(子育てひろば、学童保育)「わくわくクラブ」 ※育児ヘルパー講習会(年 2 回)
板橋区はつらつ親子広場事業(子育て支援・乳児保育・夜間学童)「どんぐりのうち」開始
- 2004 年 新宿区榎町児童センター・早稲田南子ども館運営開始
- 2005 年 板橋区立認可保育園の運営委託 ※全国各地に多様な子育て現場ひろがっていく…事業パンフ参照

■2001 年全国子育て現場所長会議 ※石郷岡しずかさん 総代会発言

■企画書と 3 つの協同 ※2003 年新宿区榎町児童センターと早稲田南子ども館企画書抜粋 3 つの協同

■協同労働で公共サービスを担う ※5.25 労協新聞センター 30 年歩み ※指定管理者制度への提言

■子育て指針の背景～協同労働の社会化の時代～

- ・2003 年 地方自治法の改正 小泉政権 官から民へ 市民の民 都内中心に子育ての広がり
- ・2008 年 私たちの子育て事業 12 の合言葉 現場でとらえる視点をわかりやすく
- ・2012 年 わが町の子どもたち運動 子どもの声をまちづくりに!!!
- ・2015 年 生活困窮者自立支援法 包摂力と福祉力の高い職場づくりに向けて 職場づくり指針
- ・2015 年 協同労働定着プログラム 協同労働宣言 ※協同労働の協同組合新原則
- ・2017 年 協同労働の子育ち指針
- ・2020 年 労働者協同組合法が成立祈願 ※2022 年施行

協同労働の子育ちの歩みは、今から 40 年前 1980 年の院内保育園の運営(日大ひまわり保育園)からはじまる。女性の働き方の多様化や子育て不安等地域でのニーズに出会い、それに応えるために「在宅保育あざみ」を発足。2001 年に全国第 1 回子育て会議を開催。集まった組合員は 20 人程度で大塚駅本部 4 階会議室で開催。近隣の学童クラブや商店街の子育て広場の運営に挑戦する中で、2003 年に地方自治法の改正に伴い指定管理者制度が導入。「子育ての市民化・社会化」の理念を掲げる協同労働への共感が広がり、学童クラブや児童館、そして保育園の運営が全国的に大きく広がってきた。

2017 年に策定した協同労働の子育ち指針の冒頭には、「子どもたちは未来そのものです」という言葉が入っている。次の社会をつくっていくのは「子どもたち自身」。協同労働の子育ちは、「子どもを真ん中においた社会」「子どもが育つ地域づくり」が目指すことを柱に掲げた。私たち大人は、「どういう社会を子どもに残すのか」が問われている中で、「子ども自身がどういう社会を望むのか」を聞きながら、「子育て」をサポートし、「イノチが育つ地域づくり」への実践が現場で豊かに生まれている。

増える虐待やいじめや不登校や一人親家庭や社会的養護の子どもたち、親の孤立、引きこもりなど孤立・分断が深刻化している社会の中で、何とかしたい! どうにかしたい! と思う市民も増えてきている地域の変化の中で、法制化時代だからこそ、「子どもを中心にした地域づくり=協同総合福祉拠点・みんなののうちづくり」が求められている。

おつかれさまでした